

## 1. 要目表 I

要目	単位	SI-2000S		備考
		K	A	
ボイラ種類		小型ボイラ (多管式貫流ボイラ)		
検査規格		小型ボイラ構造規格		
取扱者資格		事業主による『特別教育』受講者以上		
最高圧力	kg/cm <sup>2</sup> (MPa)	10.0 {0.98}		注1
水圧試験圧力	kg/cm <sup>2</sup> (MPa)	16.0 {1.57}		注1
相当蒸発量	kg/h	2,000 *1,800		注10
実際蒸発量	kg/h	1,690		注4, 10
熱出力	kcal/h {kW}	1,078,000 *970,200 {1,254 *1,128}		注1, 10
伝熱面積	m <sup>2</sup>	9.30		
ボイラ効率	%	95		注3
保有水量	ℓ	144		
燃料消費量	ℓ/h	135.1 *121.6	130.9 *117.8	注2, 10
	kg/h	108.1 *97.3	111.2 *100.1	
使用電源		AC 200V 50/60Hz 3相		
電源引込線径	mm <sup>2</sup>	22.0		注8
電源遮断器容量	A	125		注9
設備電力 50Hz/60Hz	kW	10.7	13.7	
総電気容量 50Hz/60Hz	kVA	15.0	18.0	
製品重量	kg	2,830 *2,755	2,850 *2,775	注10
ボイラ外形寸法 (W×D×H)	mm	1,280 × 2,505 × 2,455		注11
ケーシング塗装色		Sクリーム		
パネル塗装色		Sクリーム		
接続口径	蒸気出口	65		
	安全弁吹出口	50		注6
	給水入口	40		
	缶体ブロー口	[ 25 ]		注10
	燃料入口	20		
	検査穴	50		
	濃縮ブロー口	[ 10 ]		注10
	結露水ブロー口	—		
	スス洗浄水ブロー口	50		
	排気筒	φ mm	300	
バーナ	型式	強制押込通風油圧力噴霧方式		
	着火方式	高圧電気スパーク方式		
	燃焼検知方式	CdSセル		
	燃焼制御方式	三位置制御方式		
バ付   属 ナ品	電磁弁	A	10	
	ダンパ装置		モータ駆動方式	
	点火トランス		12kV / 200V	
オポ イン ルプ	型式		トロコイド方式	
	油量 50/60Hz	ℓ/h	170 / 220   190 / 240	
	モータ出力	kW	0.4	
ノヒ ズ ルタ	型式		—	
	油温調節範囲	°C	—	
	電気容量	kW	—	
オヒ イ ルタ	型式		電熱式自動 温度調節方式	
	油温調節範囲	°C	30 ~ 120	
	電気容量	kW	3.0	

要 目		単 位	SI-2000S		備 考
			K	A	
送風機	型式		単段ターボ型		
	風量	m <sup>3</sup> /min	33.0		
	モータ出力	kW	7.0		
本体付属品	蒸気圧カススイッチ		ベローズ式		
	蒸気圧カセンサ		半導体方式		
	風圧センサ		半導体方式		
	蒸気圧力計	kg/cm <sup>2</sup>	15 (ブルドン管式)		
	過熱サーモ		シース熱電対		
	スケールモニタ		シース熱電対		
	濃縮警報装置		導電率方式		
	二連水位制御装置		導電率方式		
給ポンプ	型式		多段うず巻型		
	吐出量	ℓ/h	3,200		
	モータ出力 50Hz/60Hz	kW	3.1		
エマコイノザ	型式		フィン管式		
	材質		特殊耐腐食性金属		

## 注記

1. (SI) は国際単位系を示します。
2. 燃料の発熱量は、下記数値を使用しております。

灯油	低発熱量	8,400 kcal/ℓ	比重	0.8
A重油		8,670		0.85
3. 誤差として、以下の許容値をもつものとしています。  
ボイラ効率の誤差  $\pm 1\%$  , 燃焼量(入力)の誤差  $\pm 3.5\%$
4. 実際蒸発量は、給水温度20℃、蒸気圧力5 kg/cm<sup>2</sup>を基準としています。  
なおSI-2000高温水仕様は、85℃で実際蒸発量が標準と同等になるよう入力調整を行っています。
5. 給水温度85℃以上の場合は、高温水仕様となります。
6. 安全弁吹出口径は、安全弁の吹出口に接続するエルボの口径を記入しています。
7. 給水温度は、55℃以上で使用するものとします。
8. 電源線径は、ビニール絶縁電線の線径を示します。
9. 電源遮断器は、漏電遮断器を使用してください。
10. \*の値は、高温水仕様の場合の値です。  
接続口径の [ ] 内の値は、スス洗浄水ブローに接続されています。
11. 多缶設置時、サイドケーシングの有無によってボイラ幅が変わります。

2011年9月9日

三和合織株式会社御中

三浦工業株式会社 大阪支店



ボイラ効率測定結果の御報告

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。  
さて、先日測定させて頂きましたボイラ効率結果につきまして御報告させていただきます。

測定日：9月6日 15:00 室温（給気温度）28℃

1号機（機番：13201632）  
排ガス O<sub>2</sub>：5.8%（実測値）  
排ガス温度：192.7℃（データ平均値）

ボイラ効率：90.7%

2号機（機番：13201633）  
排ガス O<sub>2</sub>：6.0%（実測値）  
排ガス温度：193.9℃（データ平均値）

ボイラ効率：90.6%

—以上—

## 性能仕様

項 目		型 式		B0 $\alpha$ -750SN	B0 $\alpha$ -750N	B0 $\alpha$ -1000N	B0 $\alpha$ -1500N
使用燃料		灯油	A重油	灯油・A重油	灯油・A重油	灯油・A重油	灯油・A重油
換算蒸発量	kg/h	653	689	750	1,000	1,500	
総発生熱量	kW {kcal/h}	409 {352,000}	432 {371,000}	470 {404,000}	627 {539,000}	940 {809,000}	
最高圧力	MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }	0.98 {10}					
伝熱面積	m <sup>2</sup>	8.67			9.20	9.86	
ボイラ効率	%	85					
保有水量	L	115			132	150	
バーナ形式		強制押込通風・圧力噴霧方式					
燃焼制御方式		三位置制御					
点火方式		ACスパーク点火					
火炎検知方式		CdS フレームアイ方式					
乾燥重量	kg	800			1000	1200	
運転時重量	kg	950			1135	1350	
使用電源		※1 AC 200V 3 $\phi$ (50/60Hz)					
設備電力	kW	3.75			4.45	6.65	
総電気容量	kVA	5.8			6.7	9.7	
燃料消費量	灯油	L/h	49.9	—	57.2	76.3	114.5
	A重油	L/h	—	49.9	54.3	72.4	108.5
ボイラ種別		小型ボイラ					
取り扱い資格		事業者による特別教育受講者以上					

備考：1. 従来単位参考値を { } で示し併記しています。

2. 上記仕様表は次の値を基準にしています。

蒸気圧力=0.49 MPa {5 kgf/cm<sup>2</sup>}

給水温度=15℃

低位発熱量=34.8 MJ/l {8310 kcal/l} (灯油)

36.7 MJ/l {8770 kcal/l} (A重油)

3. ボイラ効率は低位発熱量基準、定格時の値です。

4. やむを得ない計測誤差として、以下の許容値を持つものとしております。

・ボイラ効率の計測誤差  $\pm 1\%$

・燃焼量(入力)の計測誤差  $\pm 3.5\%$

但し、750SNは、上記仕様表の燃料消費量を最大燃料消費量とし、換算蒸発量・総発生熱量は最大燃料消費量の時の値です。

5. 上記設備電力・総電気容量は、給水ポンプ付帯時の値です。

6. ※1 軟水器(SS-Eシリーズ)を設置される場合、AC100V(1 $\phi$ )電源が必要です。

7. 製品改良のため予告なしに若干変更の行われることがありますので、ご了承下さい。



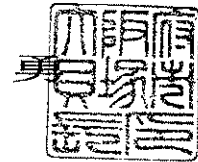
貝塚市消指令第 1 2 0 0 5 号

申請者住所 泉大津市東雲町 1 番 5 号  
申請者氏名 三 和 合 織 株 式 会 社  
取締役社長 吉 野 孝 喜 代  
設置場所 貝 塚 市 二 色 南 町 2 番 3

平成 1 2 年 5 月 1 6 日 付 を も っ て 申 請  
の あ っ た 、 危 険 物 屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所 の 設  
置 ( 受 理 番 号 予 防 第 1 1 5 号 ) に つ い て 、  
消 防 法 第 1 1 条 の 規 定 に よ り 許 可 す る 。

平成 1 2 年 5 月 2 4 日

貝塚市長 吉 道



既設ボイラー設置届

ばい煙発生施設設置 (使用、~~変更~~) 届出書

平成 年 月 日

大阪府知事殿

届出者住所 泉大津市東雲町1番5号  
三和合織株式会社

氏名 取締役社長 吉野孝喜代  
(氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては)  
その代表者の氏名



大気汚染防止法第6条第1項 (~~第7条第1項、第8条第1項~~) の規定により、  
ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	三和合織株式会社 (電話番号 0725-22-3535) (郵便番号 )	※整理番号	
		※受理年月日	
工場又は事業場の所在地	大阪府 貝塚市二色南町2-3	※施設番号	
		※審査結果	(大阪府)
ばい煙発生施設の種類の	ボイラー 2基	※備考 (収受印等)	(市町村)
ばい煙発生施設の構造	別紙1のとおり		
ばい煙発生施設の利用の方法	別紙2のとおり		
ばい煙の処理の方法	別紙3のとおり		

- 添付書類 1 ばい煙発生施設及びばい煙処理施設の設置場所を明記した図面 (工場又は事業場の平面図)  
2 変更概要説明書 (変更届の場合に限る。)

参 考 事 項

操業開始年月日		常時使用する従業員数	40名
工場又は事業場の事業内容	染色整理業	当該届出についての担当部 課名及び緊急時連絡先 (電話番号)	0725-22-3535
資本金	1000万円		

- 備考 1 ばい煙発生施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1に掲げる項番号及び名称を記載すること。  
2 ※印の欄には、記載しないこと。